

遠隔自差修正(リモート・デビエーション・アジャスティング)による整備は不正行為です。自差修正は有資格者が乗船し、点検・整備後に、海上で船を旋回させ自差を測定し、修正・確認してから整備証書が発行されます。悪質・インチキ業者は90度の旋回データで良いとか、岸壁接岸中でも可能と宣伝しています。不正な整備では安全を確保することはできません。日本コンパスアジャスタ協会は国内唯一の有資格者の組織です。

## 磁気コンパスの自差修正・整備を行っていますか？

ISO(国際標準化機構)による磁気コンパスの性能要件(ISO25862)が2009年5月に改訂・発効し、今まで以上に適正な自差修正が求められるようになっていきます。

磁気コンパスは状況に応じた「適正な修正」が必要な計器です。特に、貴船が次の状態の時は、磁気コンパスの自差修正を行う必要があります。

貴船の状態	磁気コンパスへ影響を与える事由	対処方法
新造後約2年以内 (特に最初の数か月)	船体磁気の変化が激しい。	自差測定を頻繁に行う。 過大な自差により、貴船で対応が困難な場合は、現在の状況*1を記録し、早目に自差修正を依頼する*2。
船体に落雷があった 船体が激しく振動した 船橋が改装された 船内で火災があった	船体の磁気に変化する場合がある。	自差測定を行う。 自差が規定値を超えていれば、自差修正を依頼する*2。
東西の針路においてのみ過大な自差がある	B修正が貴船に適合していない*3。	専門的な手法で解決するため、現在の状況*1を記録し、自差修正を依頼する*2。
新造後2年以上	地球磁界の影響により船体磁気に変化する。	1年または2年に一度、自差修正を依頼する*2。

- \*1 羅針路の主要8方位(北、北東、東、西、北西)の自差、測定場所(緯度経度)および各修正具の位置などを次頁の表を参照して記入し、自差修正依頼時に知らせてください。
- \*2 造船所または船舶代理店経由で、コンパスアジャスタまたは日本コンパスアジャスタ協会に依頼してください。
- \*3 B修正はフリントスバーおよび船首尾方向に平行な左右の修正用磁石で行います。いくつかの地点で自差修正を行えば正しく修正されますが、1地点での自差修正の場合、フリントスバーの修正量は推定値となり、貴船に適合していない場合があります。

磁気コンパスが次のような状態のとき、PSC(Port State Control)の要件を満たしません\*4。必ず整備してください。

- \*4 過去5年間、磁気コンパスに関連して、PSCによって指摘されている事項
  - ・電球が切れて、磁気コンパスの示度が読めない。
  - ・コンパスボウルの水平が保たれていない。
  - ・自差が全方位記録されていない。
  - ・コンパスボウルに気泡がある。

今回、貴船を担当したアジャスタは、です。ご安航をお祈りいたします。

このパンフレットは、船長、船舶所有者、船舶管理会社などの関係者に配布しております。日本コンパスアジャスタ協会と本協会の登録コンパスアジャスタは、磁気コンパスの自差修正を通じて、船舶の航行安全の向上に努力しています。皆様のご協力をお願いいたします。

一社) 日本コンパスアジャスタ協会  
 連絡先 mail@jcaa.jp Fax: 03-6734-0713

「自差が過大になった」、「自差が東西方向だけにある」等の理由で自差修正を依頼する場合、この表をコピーして必要事項を記入し、造船所または代理店経由でコンパスアジャスタまたは日本コンパスアジャスタ協会へご送付ください。

送信者 氏名 \_\_\_\_\_

連絡先 電話 \_\_\_\_\_

電子メール \_\_\_\_\_

船名 (総トン数)	( 総トン)		
最近自差修正を行なった日	年	月	自差修正者名

現在の状態について		製造会社名、型式		製造会社		型式		
下記の測定を行なった地点		緯度		経度				
下記の測定を行なった日		年		月		日		
積荷の状態		種類		積載状況		満載・半載・空載		
羅針路	N (000)	NE (045)	E (090)	SE (135)	S (180)	SW (225)	W (270)	NW (315)
偏差		左に同じ	左に同じ	左に同じ	左に同じ	左に同じ	左に同じ	左に同じ
ジャイロ針路								
自差								
修正具の状態 (本数、長さ、磁石の強度*1、磁石の赤色の向きなど)								
フリンダースパー (本数、長さ) 例) 3本、15 cm、7.5 cm、3.8 cm (長さは型式による)				本				
縦磁石 (船首尾線に平行)	左舷側 (本数、挿入位置目盛 (磁石の強度*1)) 例) 3本、15(S), 13(M), 12(W) 磁石の赤色の向きについて、右に丸印をつける。				本 磁石の赤色が、船首側・船尾側			
	右舷側 (本数、挿入位置目盛 (磁石の強度*1)) 例) 3本、15(S), 13(M), 12(W) 磁石の赤色の向きについて、右に丸印をつける。				本 磁石の赤色が、船首側・船尾側			
横磁石(船首尾線に直角)(本数、挿入位置目盛 (磁石の強度*1)) 例) 2本、12(S), 10(W) 磁石の赤色の向きについて、右に丸印をつける。				本 磁石の赤色が、右舷側・左舷側				

\*1 S:強い(濃い青色) M:中程度(青色) W:弱い(淡い青色) (磁石の強度によって青色の濃淡が変更されています。) 前回の自差修正の作業記録は新しい修正作業に大変有効です。できるだけお送りくださいますようお願いいたします。

\*\*\*\*\* この用紙はコピーしてお使いください。 \*\*\*\*\*

送付先: mail@jcaa.jp か、 協会事務局の Fax: 03-6734-0713  
あるいは今回の担当アジャスタの \_\_\_\_\_へ。